

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」

第15回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日時】平成26年1月17日（金） 14時30分から15時30分

【場所】以下の5拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：
越野教授室、昭和大学：1号館502号室、金沢電子出版株式会社、株式会社ピコラボ

【出席者】城教授（岩手医科大学）、越野教授、豊下講師（北海道医療大学）弘中教授、
美島教授、片岡教授、乾事務員（昭和大学）、佐藤様（金沢電子出版株式会社）、
鈴木様（株式会社ピコラボ）

議事内容（案）

1) 第4回ITを活用した教育センターワークショップ（3/27（木）） タイムスケジュールが承認された（資料1）

(1) 大学教職員セッション「ITを活用した授業と運用について」

職員・IT企業は授業準備、授業中の支援、授業後のアンケート等の回収集計等について、教員は予習・復習を含めたITを活用した授業法の確立について検討することで承認された。教材の運用方法については下記内容で承認された、

- 金沢電子出版株式会社 佐藤様を中心に、3大学共通の「標準運用マニュアル」を作成し、e-ラーニングシステムの運用を時系列にマニュアル化する。
- 共同で開発したIT教材を各大学でどのように実施したか3大学間で共有する。
- 授業の方法に関しても各大学における実施方法を3大学間で共有し、より良いやり方を検討する。

(2) 3連携大学3年生に対するIT教育の更なる改善を考える

第4回WSでは歯科医師会の先生方にも実際にPC上でe-ラーニングを見ていただき、意見を伺いたい。準備として第3回WSで提出された「e-ラーニング教材改善案」を元にe-ラーニングの改良版を作成する。作成は金沢電子出版株式会社 佐藤様を担当とする。各WGより送付するe-ラーニング教材改善案のITを活用した教育センターへの提出め切は2月末とする。WG2コンテンツ（ヘッド：城教授）は新規作成となるため早めの提出をお願いする。

(3) 3連携大学4年生に実施するVP教育を考える

第3回WSディスカッションより、e-ラーニングを併用しながらVPを利用するという授業形態を考えているWGが多いことより、第4回WSではPC上で実際のe-ラーニングとVPの動作を確認できるようにする。WSで使用するVPは各WGで作成するコンテンツを用いることで了承された。VP作成の進捗状況についてピコラボ鈴木様に次回報告をお願いした。

越野教授よりVPを活用した授業計画を考える際に画面遷移がわかるサンプルが必要であるという提案があった。今後は打合せにて対応する予定。

片岡教授より株式会社ピコラボ 鈴木様に各WGのVP開発状況を把握し、ITを活用した教育センターへ定期的に報告して欲しい旨依頼があった。打合せの際は、鈴木様よりITを活用した教育センターへ連絡いただき、乾事務員がセッティングすること、Skype会議議事メモを作成すること、各WGのVP作成の打合せにWG責任者が参加することです承された。

(4) 地域連携歯科医療教育について

歯科医師会とどのように連携を行なって教育を実施しているか、各大学 20 分報告する。各大学の担当者を決定し、報告の準備を進めることで了解を得た。

(5) 前日に e-ラーニング教材セミナーとして、既に完成しているコンテンツの誤字脱字の修正、成績の分析（正答例を増やす）など簡単なコンテンツ操作についてレクチャーを開催する予定。職員（歳桃様、内金崎様）や教員が出席することで了解を得た。（資料 2）

(6) 情報交換会について

情報交換会会費は 3,000 円と設定し、歯科医師会の先生方からも同額を徴収することが了承された。各歯科医師会への開催通知方法は、IT を活用した教育センターより参加依頼状文書雛形を各大学事務担当へ送付し、歯科医師会へ送付いただくことで了承された。

2) 第 33 回日本歯科医学教育学会（7/3～5、九州歯科大学主催、北九州市）演題（案）提出について、3 大学と歯科医師会が連携した本事業取組を紹介したい旨、片岡教授より提案があった。演題については片岡教授よりメールで案内を送り、1 月末までに取りまとめた旨説明があった。

3) その他

- 平成 26 年度の本事業に関連したシラバスを共有することで了承された。
- 金沢電子出版株式会社 佐藤様より以下の提案があった。3 大学共通 e-ラーニング教材の最終版をマスターコンテンツとして管理する。管理ルールは明文化して共有する。
- 3 大学連携プロジェクトとして、共通の教育目標（シラバス）を設定したい旨片岡教授より提案があった。
- 3 月 26 日（水）セミナー後の懇親会については、メンバーが決まり次第場所を検討する旨片岡教授より説明があった。

以上

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業 平成24年～28年度

昭和大学 岩手医科大学 北海道医療大学



ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成



第4回 ITを活用した教育センターワークショップ スケジュール

■ 開催日：2014年 3月27日(木)

■ 場所：昭和大学 旗の台校舎 1号館6階会議室

時間	テーマ	実施方法	担当	会場
8:45~9:00	大学教職員集合・受付			1号館6階 会議室
9:00~10:45	大学教職員セッション 「ITを活用した授業の準備と運用について」			
10:45~11:00	歯科医師会会員集合・受付	全体会		
11:00~11:10	開会式(学部長 挨拶, 自己紹介) WSの概要とスケジュール	全体会	片岡	
11:10~12:10	地域連携歯科医療教育について (3連携大学の活動状況報告)	全体会	片岡	
12:10~12:50	昼食・ディスカッション			
12:50~14:10	3連携大学3年生に対するIT教材を活用 した教育の更なる改善を考える	グループ 討議		
14:10~14:50		全体会 発表5分 討議3分	城	
14:50~15:00	休憩			
15:00~17:10	3連携大学4年生に実施するIT教材を活用 した教育を考える(1)	グループ 討議		
	事務系職員・IT企業の連絡会		片岡	
17:10~17:40	3連携大学4年生に実施するIT教材を活用 した教育を考える(2)	全体会	越野	1号館6階 会議室
		発表4分 討議3分		
17:40~17:50	閉会式、写真撮影、アンケート	全体会	片岡	
18:00~19:00	情報交換会	全体会	井上	昭和大学病院入院棟17階 タワーレストラン昭和

■ 開催日：2014年 3月26日(水) 17:30~19:00

■ 場所：昭和大学 旗の台校舎 1号館6階会議室

e-ラーニング教材作成セミナー 講師：金沢電子出版株式会社 佐藤 伸平 代表取締役

<より魅力あるe-ラーニング教材作成のための具体的なアプローチと手法>

- 作成したe-ラーニング教材を修正・改良するには？
- 学生の習熟度を把握して、リソース講義に活かすには？

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

第4回ITを活用した教育センターワークショップ

e-ラーニング教材 作成セミナー

より魅力あるe-ラーニング教材作成の
ための具体的なアプローチと手法

- ー作成したe-ラーニング教材を修正・改良するには？
- ー学生の習熟度を把握して、リソース講義に活かすには？

開催日時

2014年3月26日（水）

17：15開場 17：30開演

会場

昭和大学 旗の台校舎 1号館6階会議室

講師

金沢電子出版株式会社 佐藤伸平 代表取締役

申込み方法

参加申込みはこちらまで < itrenkei@edu.showa-u.ac.jp >

参加
無料

〒142-8555東京都品川区旗の台1-5-8

昭和大学 歯学部

スペシャルニーズ口腔医学講座

歯学教育部門 内

Phone: 03-3784-8157/Fax: 03-3784-8158

<http://dedu.showa-u.ac.jp/>